



優秀賞 (総合部門)

タイトル

思い出を感じながら

タイプ

持家一戸建

講評

「亡くなった主人の美術作品を飾る」という要望が、きちんと実現されている。リフォームにはこのような目的もある、という印象的な作品。構造には大きな手を加えていない。質素でありながら質感のある空間となっている。

リフォーム前後の写真



①リフォーム前・後のリビング



②キッチン側よりリビング・ダイニングを見る



③階段より



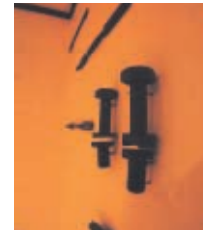
④主人の作品



⑨リフォーム前・後のLD



⑤・⑥主人の作品と設計者の作品の融合



⑦主人の作品



⑧キッチン



⑩ダイニング・キッチン

リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想 など

《動機・要望》

- ・10年ほど前に亡くなられたご主人（高等学校の美術先生）の作品を見ながら家族・友人たちとお茶を飲む空間を作りたい
- ・キッチンで作業中も話が途切れないようにしたい
- ・落ち着いた空間にしてほしい

- ・床は竹フロア、壁は漆喰塗り。既存の柱・階段などはあえて色を塗らずに、新旧の木の色のコントラストを楽しむ。
- 中心にある柱は子供たちの背丈を刻んだ思い出の柱
- 四角い波うった枠・その下の鉄製カウンターはご主人の作品
- 枠の中心の照明は設計者の自作。波打った枠の影を室内に映す

《工夫点》

- ・常にダイニング側に向けるよう逆L字型キッチンを提案
- ・工業製品を嫌う方だったので天板・側板をモルタル金コテ仕上げに

《施主の感想》

家族がこの空間で時間を過ごすことが増え、会話も増えた。お友達も多く来るようになり、またくつろいでくれる

特に配慮した住宅性能：ガス温水床暖房をリビング・ダイニング・シンク前に敷設

データ

所在地	兵庫県西宮市	構造/築後年数	在来木造/31年
該当工事面積	36 m ² /総工事床面積 36 m ²	該当部分工事費	450 万円/総工事費 450 万円
居住者構成	15歳以上65歳未満： 3 人/65歳以上： 人/15歳未満： 人/ペット： 1匹		
設計者	ミサワホーム近畿(株)	担当者	高濱 洋文
施工者	同上	担当者	

リフォーム前

リフォーム後

